

2016年度定例研究会報告

「トビタテ！留学JAPAN」日本代表プログラムとは

新井 翔太

An Overview of the Japan Public-Private Partnership Student Study Abroad Program  
“TOBITATE! Young Ambassador Program”

Shota ARAI

(1) プログラム開始の背景

「日本再興戦略～JAPAN is BACK」(2013年6月14日閣議決定)において、東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催される2020年までに大学生の海外留学12万人(現状6万人)、高校生の海外留学6万人(現状3万人)への倍増が目標として掲げられた。この目標のもと、文部科学省は、意欲と能力ある全ての日本の若者が、海外留学に自ら一步を踏み出す気運を醸成すること、将来世界で活躍できるグローバル人材を育成することを目的として、2014年に「官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム～」を開始させた。政府だけでなく、社会総掛かりで取り組むことにより大きな効果が得られるものと考え、各分野で活躍する方々や民間企業からのご支援やご寄附などにより、官民協働で推進されている。

(2) 6つのコース

留学の裾野を広げるため、このプログラムでは以下の6つのコースが設置されている。

①理系、複合融合系人材コース(募集人数200名程度)

日本再興戦略や産業界のニーズに合った理系分野における留学、先端領域における研究等特徴のある取組を支援する。

②新興国コース(募集人数70名程度)

今後成長が期待される新興国(アジア等)への留学を支援する。

③世界トップレベル大学等コース(募集人数90名程度)

世界大学ランキングで上位100位以内に位置する等、諸外国におけるトップレベルの大学などで、世界中から集まった優秀な学生とせめぎあいながら、高度な教養や専門知識を身につけることを目的とした留学を支援する。

④多様性人材コース(募集人数90名程度)

スポーツ、芸術、政治、行政、教育、研究、医療、メディア、観光、ファッション、日本文化(古典芸能、和食等)等の多様な分野で今後活躍が期待できる学生が行う留学を支援する。

⑤地域人材コース(募集人数50名程度)

地域のグローバル化を促進するため、地域の活性化に貢献するリーダー候補が行う留学を支援する。

⑥高校生コース(※<sub>1</sub>募集人数500名程度)

多様な分野においてリーダーシップを発揮

し、世界で活躍しようとする又は日本から世界に貢献しようとする意欲のある高等学校等に在籍する日本人生徒等が行う留学を支援する。

### (3) 5つの特徴

このプログラムには、従来の派遣留学制度とは異なる特徴が大きく5つある。

1つ目に、幅広い留学を対象としている点である。海外インターン、海外ボランティア活動、フィールドワーク等、大学での修学に限らない多様な実践活動を対象としており、明確な目的と意欲的な目標に基づき、28日以上2年以内の留学計画を自由に定めることができる（図1）。

2つ目に、事前・事後研修が充実している点である。事前研修では、大勢の派遣留学生とともに留学計画のブラッシュアップをしたり、グローバルリーダーの方々によるパネルディスカッションに参加したりと留学の効果を最大化するためのプログラムが組まれている。また事後研修では、留学成果を共有し、今後の活動に生かすためのフォローアッププログラムが組まれている。

3つ目に、派遣留学生コミュニティに属すこ

とができる点である。派遣留学生×大学等×民間企業で独自のコミュニティを形成し、交流会、勉強会、インターンなど種々の交流機会が創出されている。また、分野を問わず個性豊かな派遣留学生とSNSで繋がることができ、専門的な情報を共有したり、異分野、同分野で一緒に活動したりと活動の幅を広げることができる。

4つ目に、奨学金が充実している点である。留学地域により月額12万円又は16万円、留学準備金として往復渡航費等の一部、大学・大学院での授業料の一部が給付される。

5つ目に、現時点での海外経験、語学力は大きく問われない点である。将来産業界を中心に社会で求められる人材、世界で活躍できる人材の育成を目的としているため、現時点での語学力等よりも、意欲や情熱などの人物面が採用にあたり重視される。

### (4) 3つの役割

このプログラムに採用された学生には、期待される3つの役割がある。

#### ① Global Leader

留学を通して最大限に成長し、将来の

**① “幅広い留学” (海外体験) を対象**

**大学での修学に限らない  
多様な実践活動を支援**

**本プログラムの支援対象**

- 学生等が立案・作成した留学計画を支援
- “実践活動”を焦点とした留学  
(海外インターン、海外ボランティア活動、PBL、フィールドワーク等)
- 単位や学位認定の必要なし  
(大学が学修活動と認めた活動)

**トビタテ！一期生の活動例**

- 起業してスティーブ・ジョブスのようなイノベーターになる  
↓  
スタンフォード大学で研究&シリコンバレーでインターン
- 少数民族と女性のエンパワメントの可能性を探る  
↓  
バングラデシュで国連インターン

図1

Global Leaderを目指すこと。

② Ambassador

世界中に日本のファンを増やし、人脈を構築すべく、留学先で日本の文化や伝統を発信すること(図2)。例として、日本らしさを全面にだした名刺を配布したり、書道やけん玉、日本料理を伝えたりすること等が挙げら

れる。

③ Evangelist

帰国後自分の経験を伝えることで留学機運醸成の一翼を担うこと。例として、それぞれの地域や教育機関等で留学関連イベントを開催すること等が挙げられる(図3)。

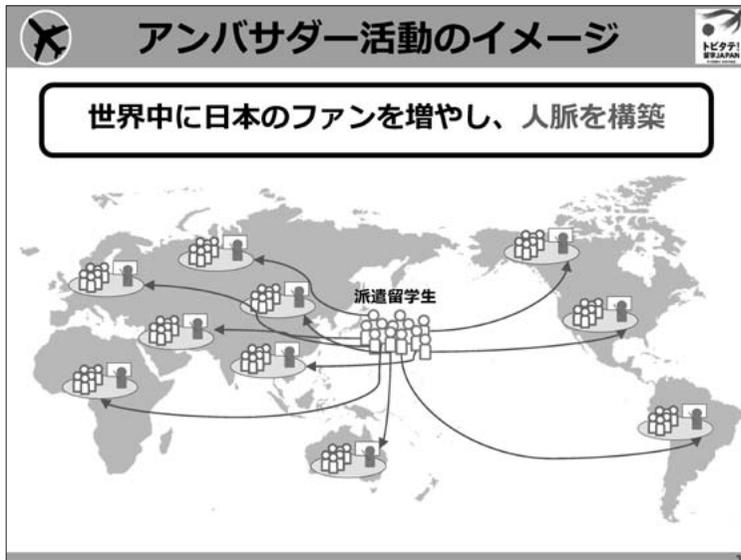


図2

図3

(5) 応募と選考について

半年に1度のペースで募集されている。選考は、書類審査と面接審査があり、計画性と人物面の2つの観点から評価されるが、審査全体としては、より人物面を重視した評価がなされる。応募方法等の詳細については、「トビタテ！留学JAPAN」公式HPを参照されるか、大学国

際センターまで問い合わせさせていただきたい。

以上、「トビタテ！留学JAPAN」日本代表プログラムについて述べてきた。本稿が、海外留学を考えている学生の一助になれば幸いである。

※1 アカデミック分野290名、プロフェッショナル分野50名、スポーツ・芸術分野80名、国際ボランティア分野80名。

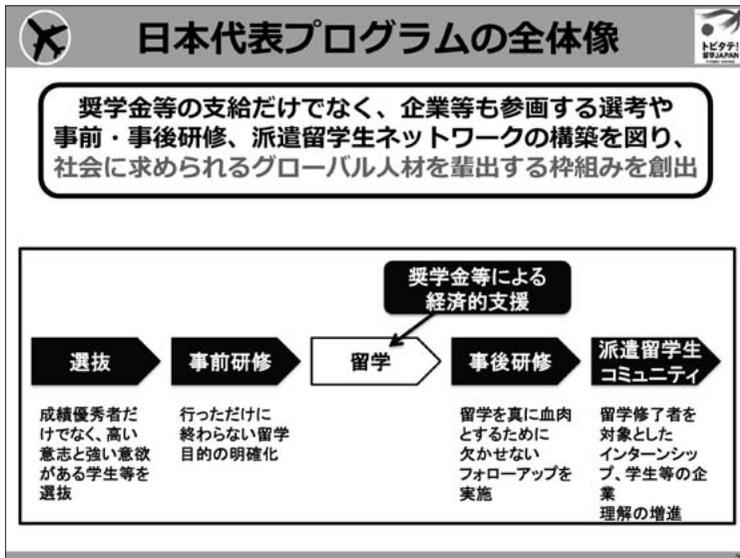


図 4

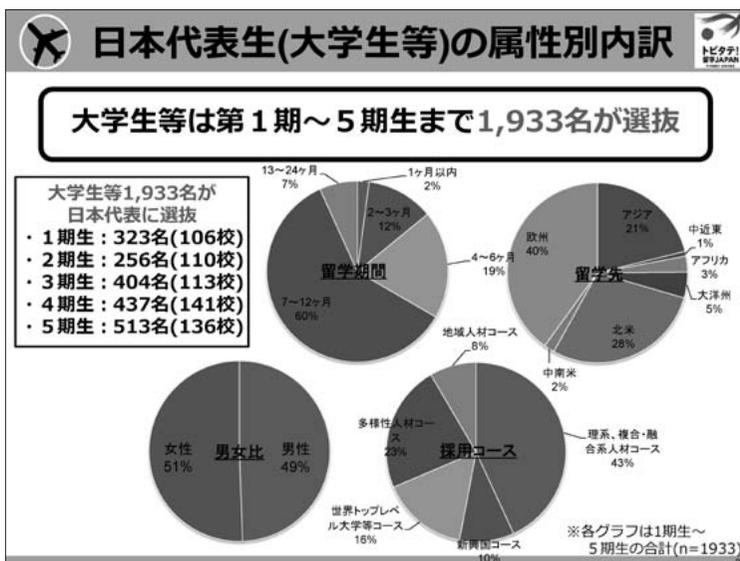


図 5